

令和7年度
秋季号



なん ふう
南風

発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会

〒900-0027

沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室

電話 (098) 987-0743

FAX (098) 987-0744

<http://okiko-iku.com>



安里眼科 安里良盛先生撮影「家族で宙返り」：
那覇市医師会チャリティー写真展出品作品より

**沖縄県交通遺児育成会新理事長に中村一彦氏、
副理事長に仲宗根勝氏を選定**

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会は7月7日、那覇市内で理事長および副理事長選定のための令和7年度第2回理事会を開き、新理事長に琉球放送株式会社社長の中村一彦氏、副理事長に県高等学校

長協会会長の仲宗根勝氏が選定されました。

また、令和7年度の第2回評議員会を8月15日に書面決議で行い、人事異動に伴う役員選任案として沖縄テレビ放送株式会社社長我那覇健氏と

日本放送協会沖縄放送局局長の笠間毅氏が新理事に就任、同時に、琉球朝日放送株式会社社長上原直樹氏を理事に加える理事増員案についても全員一致で承認されました。

(2ページに続く)

**令和7年度給付選考委員会開催 前年度比4人増の43人が認定
奨学・育成金を一部増額し給付**

沖縄県交通遺児育成会の「令和7年度交通遺児奨学金等給付選考委員会」が9月30日、沖縄産業支援センターで開かれ、奨学・育成金給付申請者43人が認定されました。(前年同比4人増)。また、令和7年度から小学生、中学生、高校生、専門学校生に対する給付金を増額したことにより、給付額は583万2千円で、前年同比150万6千円の増となりました。

そのほか、中学校入学および卒業生10人に対する激励金、事故から一年以内に認定された対象者2人には見舞金、国内派遣者1人にはリーダー育成金も認定され、令和7年度の総給付額は615万2千円となりました。(3ページに続く)

中村新理事長「未来を担う子どもたちのために取り組む」 琉球朝日放送株式会社が理事に加わり新体制でスタート



中村一彦氏

沖縄県交通遺児育成会の新理事長に選定された中村一彦氏(写真)は「仲宗根副理事長とともに、当会の支援を必要とする未来を担う子どもたちのために取り組みたい」とあいさつ。第2回理事会では同時に、現行の給付金額の一部増額案も承認され、仲宗根副理事長は「今回の給付金増額は、学校現場でも喜ばしいこと」と述べました。

また、琉球朝日放送株式会社が理事に追加されたことにより、評議員10人、理事10人、監事1人、外部監事1人の新体制となりました。今後より一層幅広い周知、広報に努め、交通遺児育成支援事業、健全育成事業を発展させて参ります。

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会

役員名簿

(令和7年8月27日現在)

評議員(10人)

親泊 一郎 元・株式会社琉球新報社社長
野原 朝昌 沖縄県自動車販売協会会長
新城 英一 公益社団法人沖縄県トラック協会会長
山城 克己 一般社団法人沖縄県バス協会会長
下地 隆之 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会会長
宮城 正明 公益財団法人沖縄県交通安全協会連合会専務理事
登野原 功 沖縄県軽自動車協会専務理事
東江 善平 一般社団法人沖縄県指定自動車学校協会専務理事
與古田思好 一般社団法人沖縄県レンタカー協会専務理事
前川 智宏 沖縄都市モノレール株式会社常務取締役

理事(10人)

理事長 中村 一彦 琉球放送株式会社社長
副理事長 仲宗根 勝 沖縄県高等学校長協会会長
半嶺 満 沖縄県教育委員会教育長
前川 英之 株式会社ラジオ沖縄社長
普久原 均 株式会社琉球新報社社長
武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社会長
長濱 弘忠 株式会社エフエム沖縄副社長
我那覇 健 沖縄テレビ放送株式会社社長
新 笠間 毅 日本放送協会沖縄放送局局長
新 上原 直樹 琉球朝日放送株式会社社長

監事(1人)

佐次田 朗 前・公益社団法人沖縄県トラック協会顧問

外部監事(1人)

玉那覇寿隆 沖縄テレビ放送株式会社非常勤監査役

(敬称略、順不同)

儀間教育振興会奨学金制度に10人の採用が決定 奨学金を大いに活用し初期の目標達成に向けて励みます

本年度で33回目を迎える(公財)儀間教育振興会の奨学金制度は、学生たちが初期の目標を達成できるようにとの思いから、自身も苦学生だったジーマ創業者の故・儀間常亀氏が1993年に設立した給付支援制度です。同制度の設立当初から毎年度、交通遺児10人の推薦枠を確保していただいており、今回も当会から推薦した10人の学生を採用していただきました。

奨学金を活用した学生からは「奨学金によって経済的な不安が和らぎ、学業や実習に集中できる環境が整った」「自分の興味のある分野にも取り組むことができている」「今、自分のやるべき事に精一杯励みたい」など、感謝の声が届いています。

当会推薦で採用を受けた学生は本年度含め372人、給付総額は8,894万円にも上ります。

なお、例年8月に行われる奨学生証書交付式はコロナ感染者の増加を鑑み、本年度も見合わせとなりました。



令和7年度 給付選考委員会

◆43人へ総額615万2千円給付 ◆うち4世帯9人が新規認定◆

選考委員会は教育、福祉、行政機関の6団体、6人で構成されており今年は5人の委員が出席し、委員長に県小学校長会の田島正敏会長（城南小学校）が互選されました。

事務局の書類審査を経た令和7年度の奨学・育成金の申請状況について説明。本年度の継続申請者は進路変更による給付停止者が1人、就職による資格喪失者が6人、復活者が2人で計34人（前年同比4人減）でした。内訳は小学生2人、中学生9人、高校生

13人、専門学校生5人、大学生5人。次に新規申請者4世帯9人について審議しました。内訳は小学生2人、中学生2人、高校生3人、大学生2人で事務局が提出書類を基に事故状況や現在の保護者状況を説明しました。質疑の後、委員長が認定可否の決議を諮りすべて給付認定されました。審議の結果、継続申請者、新規申請者を合わせた令和7年度の奨学・育成金給付対象者は25世帯43人、奨励金、見舞金、リーダー育成金を合わせた給付総額は615万2千円となりました。

また選考内規の一部改正案として、後遺障害を証明する内容をより詳細に記すため、現行の身体障害者手帳1級から4級に「または精神障害者手帳1級から3級」を追記することについて委員に意見を求め承認されました。

*** 中学校入学・お見舞金 激励のメッセージを伝達 ***

本年度の奨学・育成金給付の認定とともに、中学校入学および卒業生への激励金と、交通事故から間もない認定者に対するお見舞金の給付も決定されました。

対象となる子どもたちを激励するため、仲田国子事務局長が在籍校を訪問し、当会理事長からの激励メッセージを直接子どもたちへ届けました。

中学校に入学し、新しく頑張っていることやこれからの抱負、夢などを話す子どもたちは、少し照れくさそうながらも、夢中になれることに励んでいく強い意気込みも感じられました。

二学期制の学校は秋休み前の慌ただしい中での訪問となりましたが、ご対応いただきました校長先生をはじめ教職員皆様に感謝申し上げます。

今後も子どもたちの挑戦を、全力で応援していきます。

これからも頑張っていきます！！

✳️中学生は友達もできて楽しく過ごしています。これから得意科目もみつけて頑張っていきます。将来は美容師になりたいです。

✳️美術の授業が好きです。特に絵描くことが好きなので将来はデザイナーになりたいです。部活は吹奏楽部に入部したので頑張りたいです。

✳️中学生になって、ノートの書き方を工夫しています。マンガを描くことが好きで、美術部に入部しました。これから頑張っていきたいです。

✳️高校から始めた陸上部で走り高跳びをやっています。頑張ると記録にも反映されます。部活だけでなくこれからの将来にむけて一生懸命取り組んでいきたいです。

✳️小学校からサッカーをやっているので、中学でも入部しました。今年は県外へ派遣されるほどいい成績が残せました。得意科目は数学ですが苦手科目もあるので克服していきたいと思います。



第25回那覇市医師会 チャリティー写真展開催

交通遺児育成基金造成を目的に毎年開催されている(一社)那覇市医師会主催の「第25回那覇市医師会チャリティー写真展」(8月5日～同10日)が、パレット久茂地6階の那覇市民ギャラリーで開催されました。

今回で25回目となる同写真展では、那覇市医師会の会員や医療スタッフらが、何気ない日常や旅行先で撮影した写真120点が出展されました。初日のオープニングセレモニーで那覇市医師会の友利博朗会長は「コロナ禍以降、作品が鮮やかになったような感じがします。プロが撮ったような素晴らしい作品ばかりで、撮影者の気持ちが込められています。ナイスタイトル賞とあわせて楽しんでください」とあいさつ。当育成会の仲宗根勝副理事長は「レンズを通して生命の尊さを感じる作品や撮影者の優しさが込められた作品ばかり。これからもご支援いただく皆様とともに、交通遺児に寄り添っていききたい」とあいさつしました。



写真展のテープカットを行う育成会の仲宗根勝副理事長、医師会の友利博朗会長、交通遺児代表の比嘉杏珠さん(写真右から)

た。

また、奨学金を受けて学業に励む比嘉杏珠さんは「看護師の目標に向かってこれから精進していきます。これまでたくさんの方の支援をありがとうございました」と感謝の気持ちを述べました。

出展された作品は1点2千円で販売され、会場に設置したボックス募金等とあわせて当育成会へ全額寄付されました。同写真展からはこれまで740万285円もの浄財が寄せられています。(6ページ関連)

初 寄 付

社会貢献活動に取り組む
沖縄メディコが10万円



医療機器や材料を取り扱う沖縄メディコ(桃原修社長)は、5月30日に10万円を寄付した。贈呈式のため、7月2日に沖縄テレビを訪れた桃原社長は「毎年社員からの浄財を県内福祉団体へ寄付している。すべて子どもたちが平等な生活や教育を受けられるよう使ってほしい」と話した。

継 続 団 体

前向きに頑張って
拓琉金属が募金寄付

県内で産業廃棄物処分業をおこなう拓琉金属(古波津清正社長)は7月23日、1万6772円を寄付した。育成会事務局を訪れた同社の川満厳氏、比嘉和也氏、安次富可人氏(写真右から)は子どもたちへ「前向きに頑張ってください」とメッセージを送り寄付金を託した。

明るい未来のために
シンリュウ石油が募金寄付

産業用燃料の供給、販売に従事するシンリュウ石油(大城壮広社長)が7月24日、営業所に設置された募金箱の5499円を寄付した。育成会事務局を訪れた、同社の久田友樹係長(写真右)と石川典和主任(同左)は「子どもたちの明るい未来のために支援したい」と話した。また、未店舗設置へ新たにボックス3個も追加設置となった。



ホンダ労組が29万円余 交通安全の意識を高めていく

沖縄ホンダ労働組合（大城匡平委員長＝写真左）は7月17日、同組合員から寄せられた29万3000円を寄付した。那覇市のホンダカーズ沖縄一日橋店での贈呈式で大城委員長は「車を扱う場で働くものとして、これからも交通安全に対する意識を高め、事故を起こさないよう呼びかけていく」と話した。



パナソニックコンシューマー マーケティング 設立70周年記念で100万円

パナソニックコンシューマーマーケティング沖縄（又吉康多郎社長＝写真左）が7月23日、設立70周年を記念して100万円を寄付した。琉球放送で行われた贈呈式で又吉社長は「地域・社会にとつて子どもは宝。都合により学校に行けなくなることがないよう支援していきたい」と話した。



変わらぬご支援ご協力を賜り、
誠にありがとうございます。

ハイヤー・タクシー協会が30万円 8月5日はタクシーの日

県ハイヤー・タクシー協会（下地隆之会長＝写真右から3人目）は7月29日、タクシーの日に合わせて会員から寄せられた30万円を寄付した。琉球放送で行われた贈呈式で下地会長は「子どもたちが成長していく中での一助となれることを願っている」と寄付金を託した。



潮平太鼓きじむなーが13万円余 会解散に伴い余剰金を寄付

潮平太鼓きじむなー（大城政美会長）は8月12日、会の解散に伴い13万9001円を寄付した。育成会事務局を訪れた会員らを代表して潮平中3年生の岸本咲さん（写真後列右から2人目）は「趣味を持ち、未来を笑顔でいてくれるために使ってほしい」と、これまでの演舞料や会費の余剰金を託した。同会は青少年の健全育成を目的に平成11年に糸満市潮平を拠点に結成。地域イベントや福祉施設への慰問、募金活動などに積極的に取り組んできた。近年、会員の減少により思うような活動ができなくなったことから、令和7年5月に解散に至った。



渡嘉敷寿子さんの 三回忌香典返しで30万円

カーエアコンや車の電気廻りの修理専門店であるシュリデンキの渡嘉敷唯安代表取締役は、同社で経理を担当していた妻の寿子さん（享年71歳）の三回忌法要後の7月22日、30万円を寄付した。寿子さんが生前から寄せていた交通事故故減少や交通弱者への思いを汲み取り、香典返しとして寄付された。

給油1台ごとに寄付 JAおきなわSSが19万余寄付

JAおきなわSS（古波蔵清社長）は7月15日、19万6904円を寄付した。寄付金は、同SS各店舗に「交通遺児支援協力店」と掲示し、給油した車1台ごとに売上金の一部を交通遺児に充てる活動を実施しており、毎年度四半期ごとに寄付を行っている。令和6年度分の寄付総額は75万6340円となった。



退職公務員連盟が5万円 社会貢献活動の団体へ助成

県退職公務員連盟（銘苅愛子会長Ⅱ写真左）は8月25日、5万円を寄付した。那覇市首里の養秀会館で行われた贈呈式で銘苅会長は、「子どもたちの健全育成に役立ててほしい」と寄付金を託し、仲田国子事務局長（同右）は「学業支援のため大事に使いたい」と感謝を述べた。寄付金は昨年から開始した同連盟の助成費から充てられたもの。



J A共済連県本部59万円余 健全育成の一助として

全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部（伊良波寧本部長Ⅱ写真右から4人目）は9月3日、59万2206円を寄付した。琉球放送を訪れたJ A共済連沖縄県本部運営委員会の伊波操会長（同右から2人目）は、「子どもたちの学業の不安が和らげれば幸い。健全育成の一助として活用してほしい」と寄付金を託した。



助けてくれる大人もちゃんという 個人の方から続々支援

糸満市在住の玉城日出さんは「子どもたちのために微力

ながらも力になりたい」と1万円の支援。また、沖縄市在住の方からは「助けてくれる大人もちゃんというから頼ることを忘れずにこれからも

沖縄テレビが ヨシダナギ写真展へ招待

沖縄テレビ放送（我那覇健社長）は9月22日、「ヨシダナギ写真展」の招待券60枚を寄贈した。琉球放送で行われた贈呈式で佐久本盛秀取締役（写真中央）は「子どもたちが写真展を通して、将来カメラマンになるなど選択肢として目をむけてもらいたい」と話した。同展は浦添市美術館で10月22日まで開催された。



プロレスの楽しさを味わって パイオニアが招待券寄贈

遊技機器の企画製造、販売を行うパイオニア（大阪府・片田富穂社長）沖縄営業所は10月17日、「OZアカデミー女子プロレス沖縄大会」の招待券10枚を贈った。明るく笑顔で暮らせる社会づくりに貢献しようと、同女子プロレスへ毎年活動支援・協賛を行って



いる。子どもたちにも女子プロレスの楽しさを体験してもらいたいと、11月16日に県立武道館で行われる大会招待券を寄贈した。



那覇市医師会が39万円余 チャリティー写真展で支援

那覇市医師会（友利博朗会長Ⅱ写真中央）は、8月に交通遺児基金造成チャリティー写真展を開催し、写真の売り上げなど39万9800円を寄付した。10月7日に琉球放送で行われた贈呈式で友利会長は「未来を支える子どもたちの一助となれば嬉しい」と話した。贈呈式には仲本昌一写真展実行委員長（同左）も参加した。

頑張つて」のメッセージとともに5318円の寄付が贈られた。ほかに、長年、高校の教職員に従事されている那覇市在住の方からは「交通遺

児給付支援制度が生徒にうまく活用されていることに感謝の気持ちでいっぱい。日常に追われ直接支援できない人もいると思うが、職員みな本制度への感謝はとてもあると思う。微力だが子どもたちの支援に繋がれば嬉しい」とのメッセージとともに5000円が贈られた。

保護者メッセージ

本当に皆様からの善意のおかげ様で、ここまで子供達も成長することができました。長年にわたり支援して下さり感謝しかありません。安心して学業に専念できますこと、生活できることがあらためてありがたく幸せだと実感しています。これまで十分に支援して頂き恐縮ですが、今年度も宜しくお願い致します。

(那覇市・保護者)

海外留学に興味ありませんか、育成会がサポートします

令和7年度の海外派遣者を随時募集しています。

「外国語に興味がある」「世界の文化に触れてみたい」「テレビでみたあの国に興味がある」など、短期留学や海外研修プログラムに興味はありませんか。

また「海外留学はしてみたいけど、いきなり行くのは少し不安・・・」という方には、沖縄にしながら留学ができる「まちなか留学」もおすすめてです。実際に外国人の家にホームステイし、英語漬けの日常生活を過ごします。短期間プランのため、留学未経験の方でも気軽に利用できる制度となっています。

金銭的、時間的余裕がないことで留学のチャンスを諦めていませんか？まずは、第一歩、育成会がサポートしますのでチャレンジしてみませんか？

令和7年度の海外派遣制度を利用されたい方は、お気軽に育成会事務局までお問い合わせください。

当会で交通遺児認定者として給付を受けている中学生以上のお子さまが対象です。予算には限りがあります!! このチャンスをお見逃しなく!!

※まちなか留学に限っては小学校3年生から参加できます。

育成会・へえ... な交通安全クイズ

107号の正解は①b、②b、③a、④b、⑤bでした。

高速道路編!!

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 高速道路走行時に事故や故障で停車する場合、義務付けられているのはわからない場合自動車はどうすべきか</p> <p>a 三角停止表示版を設置する</p> <p>b 発煙筒を使用する</p> <p>(2) 高速道路で故障したら必ず非常電話から救援を呼ばなくてはいけない</p> <p>a 同乗者の避難や三角停止表示版を設置したら、携帯電話からでも可能</p> | <p>b 非常電話で救援依頼の電話をしなくてはいけない</p> <p>(3) 高速道路でやってはいけないことは</p> <p>a 左側の車線を走り続ける</p> <p>b 安全運転を心掛けているので、40km/hで走行する</p> <p>(4) 追い越しの時は制限速度を超えてもいい</p> <p>a 超えてもいい</p> <p>b 追い越しする時は最高速度と同じ速度</p> <p>(5) 車間距離は常に100mである</p> <p>a はい</p> <p>b 前走車が急停止しても、安全に泊まれる距離なら100mでなくてもいい</p> |
|--|---|

※解答は次号109号で掲載します

県民の支援の輪 善意ありがとうございました